

§ 7 . 参 考 文 献

- 1) 鋼橋技術研究会・複合構造研究部会：昭和63年度研究報告書、1989.
- 2) 若下藤紀、若菜弘之：複合橋梁の継手部に関する基礎的研究、土木学会第44回年次学術講演会講演概要集、1989.
- 3) 道路橋示方書Ⅱ.鋼橋編：日本道路協会、1990.
- 4) 道路橋示方書Ⅲ.コンクリート橋編：日本道路協会、1990.
- 5) AASHTO: Standard Specification for Highway Bridges, 13th, 1983.
- 6) BSI: BS5400; Part5-Codes of Practice for Design of Composite Bridges, 1979.
- 7) DIN: Richtlinien für Stahlverbundtrager, 1980.
- 8) 複合斜張橋の設計法：土木学会関西支部、昭和62年度講習会テキスト.
- 9) 鋼・コンクリート合成構造の設計ガイドライン；土木学会、鋼・コンクリート合成構造小委員会、1989
- 10) 若下藤紀：合成構造橋梁の継手部の応力、橋梁と基礎、1983. 7
- 11) 若下藤紀：合成構造橋梁の継手部の応力、土木学会第39回年次学術講演会講演概要集、1984.
- 12) 若下藤紀、野田行衛：複合構造橋梁の継手部の応力、土木学会第40回年次学術講演会講演概要集、1985.
- 13) 若下藤紀、木村文彦、野田行衛：複合構造桁の継手部の応力症状について - 特にくり返し荷重を受けた場合 -、土木学会第41回年次学術講演会講演概要集、1986.
- 14) 若下藤紀、木村文彦：複合構造桁の継手部における応力性状について、土木学会第42回年次学術講演会講演概要集、1987.
- 15) 若下藤紀、中村元：複合構造桁の継手部における応力性状について、土木学会第43回年次学術講演会講演概要集、1988.
- 16) 若下藤紀、椎名陽一、白石薫：複合構造桁の継手材として用いるスタッドジベルのバネ定数について、土木学会第45回年次学術講演会講演概要集、1990.
- 17) 百瀬和夫、町田篤彦、田島二郎：プレストレスによる鋼・コンクリート部材接合工法に関する研究、土木学会第40回年次学術講演会講演概要集、1985.

- 18) 日野伸一、太田俊昭、浜田純夫、兼行啓治：鋼・コンクリート混合構造部材の継手に関する実験的研究、第7回コンクリート工学年次講演会論文集、1985.
- 19) 阿部英彦、中島章典、草野裕市、大島知洋：合成構造の継手に関する実験、土木学会第41回年次学術講演会講演概要集、1986.
- 20) 田島二郎、町田篤彦：プレストレスによる鋼部材と鉄筋コンクリート部材の軸方向接合法に関する研究、構造工学論文集 Volume 32A 1986.3.
- 21) 田島二郎、町田篤彦、大友健：スタッドシアコネクターによる鋼・コンクリート接合部の強度（変形性状に関する基礎的研究）合成構造の活用に関するシンポジウム講演論文集、1986.
- 22) 田島二郎、町田篤彦、山田知彦：圧縮を受ける鋼、コンクリート複合構造継手部の力学的性状、土木学会第42回年次学術講演会講演概要集、1987.
- 23) 町田篤彦：鋼とコンクリートの継手、複合構造（複合構造システム小委員会報告）、日本鋼構造協会、昭和62年5月.
- 24) 阿部英彦、中島章典、加藤博士、金子勉：RC梁に鋼梁端を埋込んだ継手部の曲げ実験、土木学会第42回年次学術講演会講演概要集、1987.
- 25) Machida, A. and Tajima, J.: Deformation Characteristics and Strength of Stud Shear Connectors, International Symposium of Composite Steel Concrete Structures, Bratislava, 1987.
- 26) 阿部英彦、中島章典、金子勉：曲げを受ける鋼・コンクリート継手部のずれ止めの効果、土木学会第43回年次学術講演会講演概要集、1988.
- 27) 崎元達郎、平井一男、梶川靖治、須崎浩二：鋼・コンクリート結合はりの曲げ強度実験、土木学会第43回年次学術講演会講演概要集、1988.
- 28) 日野伸一、太田俊昭、片渕文隆、兼澤秀和：混合構造形式による鋼・PC部材継手部の静的・疲労曲げ性状、土木学会第44回年次学術講演会講演概要集、1989.
- 29) 田島二郎、町田篤彦、青木圭一：鋼・コンクリート複合構造部材接合部の解析、土木学会第44回年次学術講演会講演概要集、1989.
- 30) 田島二郎、町田篤彦、吉田修：鋼・コンクリート複合ラーメン構造接合部の性状、土木学会第44回年次学術講演会講演概要集、1989.
- 31) 崎元達郎、須崎浩二、梶川靖治、平井一男：鋼・コンクリート結合はりの曲げ強度実験、構造工学論文集 Volume 35A 1989. 3

- 32) 清宮理、横田弘：鋼・コンクリート合成構造の接合部の力学特性、第2回合成構造の活用に関するシンポジウム講演論文集、1989.
- 33) 田島二郎、町田篤彦、青木圭一：鋼・コンクリート複合梁軸方向接合部の性状、第2回合成構造の活用に関するシンポジウム講演論文集、1989.
- 34) 崎元達郎、須崎浩二、白石隆宏、梶川靖治：鋼・コンクリート連結はりの三点曲げ強度実験、第2回合成構造の活用に関するシンポジウム講演論文集、1989.
- 35) 日野伸一、太田俊昭、片渕文隆、兼澤秀和：鋼・コンクリート混合構造部材の継手部の静的・疲労曲げ性状、第2回合成構造の活用に関するシンポジウム講演論文集、1989.
- 36) 秋本泰輔、山田淳、小林洋一、森本精洋：鋼・コンクリート混合構造橋脚の接合部に関する基礎的検討、土木学会第45回年次学術講演会講演概要集、1990.
- 37) 松本好生、寺田博昌：合成構造におけるずれ止めの実験（スタッド、接着材併用接合）、土木学会第38回年次学術講演会講演概要集、1983.
- 38) 平城弘一、前田幸雄、松井繁之：スタッドジベルの静的および疲労押抜強度について、土木学会第38回年次学術講演会講演概要集、1983.
- 39) 田島二郎、町田篤彦、大友健：スタッドシヤコネクターの変形・強度特性に関する研究、土木学会第39回年次学術講演会講演概要集、1984.
- 40) 平城弘一、栗田章光、赤尾親助：スタッドの押抜挙動に及ぼすスタッド近傍のコンクリートの充てん度の影響について、土木学会第39回年次学術講演会講演概要集、1984.
- 41) 岡村宏一、島田功：ずれ止め近傍の3次元応力解析、土木学会第39回年次学術講演会講演概要集、1984.
- 42) 平城弘一、栗田章光、赤尾親助：スタッドの押抜強度に及ぼす影響因子に関する基礎的研究、土木学会第40回年次学術講演会講演概要集、1985.
- 43) 前田幸雄、梶川靖治：組み合わせ応力を受けるスタッド付き鋼板の疲労強度の一評価方法、土木学会第40回年次学術講演会講演概要集、1985.
- 44) 平城弘一、松井繁之、三好栄二：スタッドの疲労強度向上に関する実験的研究、土木学会第40回年次学術講演会講演概要集、1985.
- 45) 平城弘一、栗田章光、赤尾親助：スタッドの押抜き強度に及ぼす影響因子に関する基礎的研究（続）、土木学会第41回年次学術講演会講演概要集、1986.

- 46) 平城弘一、栗田章光、赤尾親助：頭付きスタッドの押抜き挙動に及ぼすコンクリートの打ち込み方向の影響、土木学会論文集、第380号 1-7, 1987.
- 47) 平城弘一、栗田章光、赤尾親助、黒崎一人：スタッドの押抜き強度に及ぼす影響因子に関する実験的研究、土木学会第42回年次学術講演会講演概要集、1987.
- 48) 平城弘一、松井繁之、三好栄二：スタッドの疲労強度向上に関する実験的研究(続)、土木学会第42回年次学術講演会講演概要集、1987.
- 49) 園田恵一郎、鬼頭宏明、渡部恭三：鋼板・コンクリート合成はりのスタッドに働く軸引張力について、土木学会第43回年次学術講演会講演概要集、1988.
- 50) 平城弘一、松井繁之：スタッドの静的強度評価式について、土木学会第43回年次学術講演会講演概要集、1988.
- 51) 渡辺昇、佐藤浩一、横田敏幸、井上稔康：CS橋の頭つきスタッドジベルの適正間隔について、土木学会第43回年次学術講演会講演概要集、1988.
- 52) 池尻一仁、蟹江俊仁、松岡一祥：スタッドせん断ずれ止めの強度、土木学会第44回年次学術講演会講演概要集、1989.
- 53) 蟹江俊仁、池尻一仁、大前博、松岡一祥：スタッドジベルによる鋼・コンクリート継手構造の疲労強度と剛性低下について、土木学会第44回年次学術講演会講演概要集、1989.
- 54) 園田恵一郎、鬼頭宏明、浅香貴俊：鋼板・コンクリート合成はりのスタッドに働くせん断力と引張力、土木学会第44回年次学術講演会講演概要集、1989.
- 55) 平城弘一、松井繁之：頭付きスタッドの疲労強度に及ぼすスタッド余盛り形状の影響、構造工学論文集 Volume 34A 1988. 3
- 56) 平城弘一、松井繁之、福本昶士：頭付きスタッドの強度評価式の誘導—静的強度評価式—、構造工学論文集 Volume 35A 1989. 3
- 57) 平城弘一、松井繁之、福本昶士：頭付きスタッドの強度評価式の誘導—疲労強度評価式—、構造工学論文集 Volume 35A 1989. 3
- 58) 平城弘一、松井繁之：限界状態設計法のための頭付きスタッドの静的・疲労強度に関する評価式、第2回合成構造の活用に関するシンポジウム講演論文集、1989.
- 59) 園田恵一郎、鬼頭宏明、浅香貴俊：鋼板・コンクリート合成はりのスタッドに作用する力、第2回合成構造の活用に関するシンポジウム講演論文集、1989.

- 60) 平城弘一、波田凱夫：無収縮モルタルに埋込まれたスタッドの押抜き挙動について、平成2年度土木学会関西支部年次学術講演会講演概要集、1990.
- 61) 大谷恭弘、馬場真吾、福本誘士：組合せ荷重を受けるスタッドアンカーについて、平成2年度土木学会関西支部年次学術講演会講演概要集、1990.
- 62) Viest, I.M.: Investigation of Stud Shear Connectors for Composite Concrete and Steel T-Beams, Journal of ACI, Vol.27, No.8, 1956.
- 63) Slutter, R.G. and Driscoll, G.C.: Flexural Strength of Steel-Concrete Composite Beams, Journal of the Structural Division, ASCE, Vol.91, No.ST2, 1965.
- 64) Ollgaard, J., Slutter, R.G. and Fisher, J.W.: The Strength of Stud Shear Connectors in Light-weight and Normal-weight Concrete, AISC, Engineering Journal, Vol.8, No.2, 1971.
- 65) 山本稔、中村正平：Stud Shear Connectorの試験報告、建設省土木研究所報告、109号、1961.
- 66) 阿部英彦、竹名興英：合成桁のずれ止め用スタッドの疲労強度(1)(2)、構造物設計資料、No.31,32, 1972.
- 67) 阿部英彦：鉄道用合成桁のずれ止めに関する実験的研究、国鉄、鉄道技術研究所、No.961, 1975.
- 68) 若下藤紀、野田行衛：橋梁における合成構造の一例、橋梁と基礎、1982.2
- 69) 島田和則、大久保貴美男、藤澤伸光、五十畑弘、鞆一：複合斜張橋（秩父橋）上部工の施工、橋梁と基礎、1985. 12
- 70) E. Volke : Die Strombrücke im Zuge der Nordbrücke Mannheim-Ludwigs-hafen (Kurt-Schumacher-Brücke). Der Stahlbau 4,5 1973
- 71) 工藤憲一：ノルウェーの吊橋と斜張橋、橋梁と基礎、1984. 1
- 72) J. Modermann, K. Thönnissen : Die neue Rheinbrücke Düsseldorf-Flehe/Neuss-Uedesheim (Planung, Entwurf, Ausschreibung, Vergabe und Überblick über den Ausführungsentwurf). Bauingenieur 54,1979.
- 73) G. Dittmann, K. G. Bondre : Die neue Rheinbrücke Düsseldorf-Flehe/ Bauingenieur 54, 1979
- 74) H. Schambeck, H. Foerst, N. Honnefelder : Der Betonpylon der Rhein-brücke Düsseldorf-Flehe/Neuss-Uedesheim, Bauingenieur 54, 1979.

- 75) R. Kahmann, E. Koger : Die neue Rheinbrücke Düsseldorf-Flehe/Beysse-Uedesheim (koordination der Gesamtbaumaßnahme und Beschreibung des Stahlüberbaues), Bauingenieur 54, 1979.
- 76) R. Kahmann, E. Koger : Die neue Tjörnbrücke, Bauingenieur 57, 1982.
(若下藤紀、前田研一、野田行衛 訳、橋梁と基礎、1985. 3)
- 77) 海峡横断技術シンポジウム 欧州複合斜張橋 視察報告書: Trondheim, Norway, June, 1990
- 78) 多田和夫、山岸一彦: 生口橋の設計・施工 - 主として接合部について - 第2回合成構造の活用に関するシンポジウム講演論文集、1989.
- 79) 森邦久、帆足博明、木村一也: 生口橋接合部実験報告、本四技報 Vol.13 No.49 1989. 1
- 80) 多田和夫、山岸一彦、西本聡、矢野保広: 生口橋上部工の設計(上, 下)、橋梁と基礎、1990. 7, 9.
- 81) 山岸一彦、西本聡、梶川靖治、森田雄三: 生口橋主桁接合部の設計について、コンクリート工学年次論文報告集、1990. 12
- 82) 森元峯夫: ノルマンジー橋、橋梁と基礎、1990. 8